唐土訓蒙圖彙
六

唐土訓蒙圖彙巻之十 器用之四

衣服儀制珍寳

希(き)冕(べん)

韋(い)弁(べん)

爵(しやく)弁(べん)

燕(えん)服(ぷく)

上(じやう)公(こう)袞(こん)冕(べん)

卿(けい)大(たい)夫(ふ)玄(げん)冕(べん)

皮(ひ)弁(べん)

玄(げん)端(たん)

侯(こう)伯(はく)鷩(べつ)冕(べん)

子(し)男(だん)毳(ぜい)冕(べん)

孤(こ)希(き)冕(べん)

士(し)皮(ひ)弁(べん)

毋追
章甫
周冕
麻冕
綦弁
緇冠
漢冕
委貌
介幘冠
緇撮
皮弁
雀弁
臺笠
皮冠
五積冠
烏紗萬福巾
帷帽
面衣
幅巾
綱巾
儒巾
大帽
諸葛巾
忠靖冠
褕狄
褘衣
展衣
闕狄
鞠衣
褖衣

衣ハ上衣の服なり
裳ハ下体の
虞書十二章
日
月
辰
山
龍
華蟲
宗彝
藻
火
治五巾
雲巾
東坡巾
紗帽
漢巾
四周
純陽巾
老人巾
将巾
結巾
鳳翅盔
金貂巾
纏粽帽
束髪冠
三山帽
氈笠
韃帽
雷巾
道冠
僧帽
芙蓉帽
吏巾
皂隷巾

九罭袞衣圖
天子の法衣
九罭繡裳圖
服の圖
粉米
黼
黻
狐裘
羔裘
冕綖
瑱
雜佩
綬
綢
帨
扉
屨
木屐
舄
縧
大帶
方心曲領
笏
韘
觿
韍

粤兵盔甲式
頓項身甲
頭鍪
人甲
掩膊
馬甲
面簾
鷄項
馬身甲
搭後
半面簾
内外命婦冠服
冠
釵
花面
滿冠
鐶
道衣
僧衣
霞帔
釧
指鐶

黄盖
儀鍠氅
戟氅
氅
雉扇
華盖
大繖
虎豹
馴象
仗馬

繒扇
朱雀幢
玄武幢
青龍幢
白虎幢
五明扇
大豹尾
龍頭竿豹尾
告止旛
御行止まるヿハ此旛をたつる
傳敎旛
御行速ニ令するに此を用ゆ
信旛
玄宮の験とあらはして緒と
しめす
麾旛
二竿とも朱地に龍を畫く
旗竿

龍旗

赤

十二竿 金龍ヲ繪 朱竿ニ漆メ 旒二八 纓ヲ象セリ

北斗旗

黒

一竿 星と金ますみさ

門旗

門

赤

四竿 門の字を金にて書

朱雀旗

南方の神 即ち鳳凰なり

赤

玄武旗

北方の神 即ち亀蛇にて騰蛇なり

雲旗

日月旗

赤

各一竿 日ハ赤 月ハ白 と明すく

青龍旗

東方の神

白虎旗

西方の神

赤

雷旗

雷文と壽

赤

風旗

箕星と壽

赤

雨旗

畢星と壽

赤

四瀆旗
江河淮濟
四瀆
赤
四竿
五嶽旗
岱華嵩衡恒
五岳
赤
五竿
五星旗
木歳星
火熒惑
土塡星
金大白
赤
星を含
熊旗
赤
一竿
羆旗
赤
一竿
鸞旗
赤
一竿
天祿旗
天鹿
獸白
身綠
尾一
角
青
天馬旗
馬形
両翼あり
赤
白澤旗
虎首
朱髪
有角
龍身
赤
二竿
麒麟旗
赤
二竿
方相魌頭
方相者防喪也自黄帝時俗號險道神周礼有方相氏大喪先匶及墓入壙以戈擊四隅敺方良故喪家以方相先馳宋朝喪葬令有方相魌頭之別皆是其品所當用而世以四目為方相両目為魌頭按漢世逐疫用魌頭亦方相之比也
方相
有官者用之
魌頭
士用之

珍寶
密陀僧
菩薩石
白石英
無名異
井泉石
蜜栗子
石膏
方解石
不灰木
石鍾乳
土殷孽
禹餘糧
石
長
理

空青
礬石
金牙石
薑石
麦飯石
水中白石
石燕
石蟹
婆娑石
青礞石
花乳石
白羊石
金剛石
石蛇
蛇黄
霹靂碪

硇砂
凝水石
色ハ雲母のごとく
當門子
井塩
池塩
河東安邑
牛黄
熊膽
戎鹽
胡國の山崖
山坂の陰土に生ず
石塩
石炭

唐土訓蒙圖彙巻之十一 艸之上
草木
膠井
火井
油井
花紋石
蓍
鉄掃帚
和名メドハギ
吉祥草
美人蕉

黄精 三月
苗生ズ高一二尺 葉竹の如くしてひろく 又細く對生す ひらく 白花をひらく 子黍の如く 根生姜のごとし
和名ナルコユリ
萎蕤 葉
せばくして もく 表白く裏青し 莖竹の如く 葉の間に花をひらく 沙参のごとく實を結ぶ
和名カラスユリ
柴胡 苗生
莖青紫にして甚香し 葉竹に似たり 又蒿に似たり 麥門冬に似て短し
黄耆 葉
槐葉に似て 花をひらく 小角をむすぶ 又蒺藜に似たり 根の長さ二三尺
人参 春苗
と生して三四月 花さく細小にして 紫白色 秋のうちに子を結ぶ 根人の形に似たり
玄参 春
苗を生じ莖紫色にして七月 花を開く 青碧色にして八月実を結ぶ 黒色にし
黄芩 叢
生高一尺ばかり 又独莖なるもあり 葉細長く青くして 對に六月紫花を開く 根知母のごとし
天麻 苗の
初て出る苗葉のごとし 独莖を抽て直に上る 高二三尺 箭竿のごとし 故に赤箭ともいふ
和名ヌスビトノアシ
薺苨 苗莖
都て人参に似て 葉小く根異なり 桔梗根に似て 心なし
和名シロツリガネ
沙参 苗生
して一二尺 叢生 崖壁の間にあり 葉枸杞に似て 又牙あり 七月紫花を開く
和名ツリガネ子
又トトキニンジン
丹参 苗生
して高一尺ばかり 莖幹方稜あり 薄荷のごとくにて毛あり 三月花をひらく 紫色なり
紫参 苗長
して一二尺 莖青く 細葉 槐に似たり 又羊蹄に似たるもあり 五月花を開て白し 又紫の者もあり

拳参 葉ハ羊蹄ニ似て根ハ海鰕に似て匡し

杏参 根ハ小薺根ニ似たり

茸草 苗生して高一二尺葉櫻の如く七月紫花を開く奈に似たる子を結て角子となる

知母 四月苗を生ず葉韮花の如し八月実をむすぶ根黄色菖蒲に似て柔潤し

貝母 葉ハ蕎麦に似て七月花を開く其花白色根貝子をあつめたるが如し故に名つく数種あり

前胡 春苗を生し青月白色蒿に似たり初出の時白芽長三四寸甚香美し一種柴胡と當帰に似たるあり

升麻 苗生して高二三尺許葉麻に似て三四月白花をひらく黒実あり大小二種あり小ハ園中にうへてよし

和名アハモリ

和名ノダケ　又ミツバグサ

徐長卿 苗の高さ二三尺葉柳に似て細く実ハ小花をひらきて尖角兒をむすぶ根細辛に似く香氣も同じ

淫羊藿 葉ハ杏に似て上に刺あつて粟稈の如し根ハ四月白花をひらく又紫花さくもあり

貫衆 苗生して赤く葉大ニ蕨のごとし茎幹三稜葉緑色小鶏の翅に似たり

和名ヤヘノクサ　ウラジロ　ホナガ

和名イカリ草

仙茅 葉ハまるくして芽の如く軟らに復稍潤し面に縦理有三月花開て梔子の如し実をむすばず

白頭翁 苗生す状白薇のごとく長して茎端に白毛あり根のきはに白茸ありて白頭の老翁に似たり

白前 苗ハ細辛に似て大に色白くおれ易し赤葉の柳に似たるも芫花に似たるもあり

和名ヒメハナ

萬年青
金星草
骨碎補
和名ヲモト
景天
紫背金盤
地錦草
和名ヘンケイソウ
石莧
崖椶
石長生
和名シノブクサ
當帰
肉豆蔻
白豆蔻

白芷　葉
相對し紫色ニ潤さ三指ばかり花白く微黄し伏日ニ入て実を結ひ立秋の後うらむ
蓬莪　昂
茂木にして高二三尺葉青白色長一二尺裏荷ニ類して五月に花あり穂をなし根ハ生姜のごとくなり
京三稜　春苗
を生じ高三四尺麦蒲葉に似て皆三稜あり五六月花を開く鞭草に似たり
零陵香　葉ハ
麻の如くあひ對し氣ハ蘼蕪の如し七月花を開てかうばし
獨頭蘭　葉ハ
蘭ニ似て小し去白むらをひらく赤蘭のごとし
茅香　三月
苗を生して大麦ニ似たり五月白花を開く又黄花あり
和名ホクリ
華撥　叢
生高三四尺葉圓く潤二三寸桑の如し三月白花を開く七月子を結ぶ椹子ニ類せり
鬱金　四月
苗を生し姜黄ニ似て花白く實なし根黄赤し
補骨脂　昂破
高さ三四尺葉薄荷ニ似て微紫色實ハ麻のごとく
木香　葉
羊蹄ニ似て長大し花ハ菊の如し又葉山の芋のごとく紫花を開く
杜若　江湖
ニ生ス葉ハ姜ニ似て花赤色根ハ高良姜ニ似て小し
莎草　昂
香附子也これハ葉ハ三稜ニ似て根ハ附子のごとくけ多し
和名カヤツリ

薄荷 莖葉
莖に似て尖長冬を越て根死す して春生ル夏秋莖葉ふをとり暴乾し用
藿香 葉ハ
桑に似て小く薄し六月花さく形似たる故に豆を藿として六
和ニアルハ藥ニ用ヒヨロシカラス
高良薑 春苗
を生ル莖葉薑の如く大なり高一二尺となり花ハ紫色山薑のごとし
香薷 所
蘇に似て葉更に細し十月に花さく一ニハ香薷に作る
茉莉 花ハ
春末より開て香あり花白千葉のごとしあわり植て翫とすへし
藁本 葉ハ
白芷に似て香ハ芎藭に似て細し五月白花を開く七八月子を結ぶ根紫色なり
益智 葉ハ
蘘荷に似て高さ一丈餘其根の旁に小枝を生ル其花萼ハ穂と成其子ハ棗のごとし
縮砂蜜 苗莖
高良姜に似て三四尺八三月花を開て根下にあり五六月実となる
甘松香 叢
生して葉細くして茅草に似たり根極て繁し八月採て湯浴にすれば香し
蒟醤 木に
縁て生ル其子桑の實のごとし熟すると長さ二三寸蜜に藏て食ル辛く香し
天門冬 蔓
生して長さ一丈葉ハ茴香のごとし
菟絲子 夏
苗を生ル絲のごとく草木乃うへにはひく六七月子を結ぶ
和名 ウシアツウメン
和名 スヘルリクサ

葎草（りつさう） 葉八
葎麻のごとくにして小く細刺あり花葉ハ白し子も麻子に類ス一名猪殃殃

白薬（はくやく） 苗八
苦苣に似て四月まうて赤茎長して葫蘆に似たり六月白花を開き八月子をむすぶ

紫葛（しかつ） 春生
夏枯る蒲萄に似て紫色也長丈大者径二三寸葉ハ蘡薁に似て根皮ハ紫色也

赤地利（しやくちり） 春夏
苗を生じ蔓をなし草木の上にまとふ茎赤く葉青く蕎麦に似たり七月白花をひらく じまの下に粉あり

預知子（よちし） 蔓
生大木の上にのぼる葉緑にて三角あり面ふかく背淡し七八月実あり

千里光（せんりくはう） 葉八
菊に似て枝長し蘂圓くして青し背に毛あり秋莖葉を生じて花あり黄色也

使君子（しくんし） 三月
花を生じて淡紅色久しくして深紅色五瓣あり七八月実を結ぶ大さ梔子の如し数稜を

纏枝牡丹（てんしぼたん） 枝葉
まとふて倚附て生す葉ハ牡丹の態度ありて甚小し小瓣にて単葉にして花開いて簡にして雅あり

鉄線（てつせん） 饒
州に生ず三月根をとり用ゆ土人腫毒をけす消ス

馬兜鈴（ばとうれい） 苗生
して蔓の如く葉山芋に似たり六月黄花を開き七月実を結ぶ大さ鈴のごとし

天壽根（てんじゆこん） 台州
に生ず毎歳土貢とす其性涼にして甚胸膈の煩熱を治す

威霊仙（いれいせん） 生す
こと衆草に比して最先也葉柳に似て層々車輪のごとし花浅紫或碧白色を発す

白英（はくゑい） 蔓
生じて葉まるく白毛あり夏花さきこなるかその実をあとへて赤し 一名ハ雪下紅

何首烏（かしゆう） 春苗
と生ル山芋の如く其蔓竹木に延て夏秋黄白花を開く子に稜あり秋冬に根をとる大ハ拳のごとし

蕃薯（ばんしよ） 此種
近年さかんにつくりて利多し食して味よく人多し

南瓜（なんくわ） 實と
むすぶ正圓にして西瓜のごとく色赤し蔓も大なり
○色ノ白キハタウ瓜ト云此類ナリ

金我烏（きんがうう） 瓜の
色淡黄にして形我烏の卵のごとく味甚甘美なり
童児のもてあそびの類とすべきもの

西瓜（すいくわ） 實と
緑に圓に大さ鞠のごとく色赤きの如しで金色又黒きあり
○ウリノ赤ヲカラト云形少小ブリナリ

和名ヒヨドリジヤウゴ

和名リキウイモ

和名ボウブラ

和名ヒメウリ

和名スイクワ

通草（つうそう） 木通なり
葉石葦に似て三葉相對ル花白く實米飯の如くにて取參なり

眉兒豆（びちとう） まめ
とう豆秋の末にいたりて實多し花紫なり實くろきもあり

山豆根（さんづこん） 蔓生
豆根のごとし葉まるく冬も凋まん八月まで用ゆ一種小槐の如なるあり

栝樓（くわろう） 蔓
生にして甜瓜の如く細花七月にひらく實も下に在て拳のごとし

蘿摩（らま） 藤
生じて葉厚しこれをつみて乳汁あり子ハ瓢の形に菓あり一名羊角菜

石南藤（せきなんとう） 天台
山中に生ル其苗のびて木上にまとふ四時不かはらず

和名アケビ

和名イゲンマメ

和名カルリ

和名ガガイモ

和名フウトウ

獨用藤 施州に生ス四時葉あり花なし葉上に刺ありとりこ時なし

瓜藤 四時葉あり花なしとりに時なし
施州ニ生ス

含春藤 台州に生ス苗蔓木上にまとふ冬夏青し土人葉をとりて薬ニ入る

血藤 葉ハ蒲蘭の如し根ハ大拇指乃如し其色黄なり五月にとる

鉤藤 葉ハ細長く節間に刺ありて釣の如し

百稜藤 台州に生ス春苗を生ス蔓て木上にまとふ花なく冬夏青し皮をとりて薬ニ入る

祁婆藤 天台山中に生ス其苗蔓て木上をはふ四時つねに葉あり土人其葉をとる

烈節 苗葉倶に丁公藤に似たり花実なし九月にとるか

落葵 籬壇 すり蔓延て七月の比番花なり葉圓て光潤あり加熱して食ふへし實熟して紫色とそむへし

和名ツルムラサキ

落鴈木 蔓生して木をはふ葉形茶に似たり花實なし四月にとる

百部 春苗を生し茴香葉に似て…二三尺ありて実と…

石合草 其苗木にまとふ四時葉ありて花なしその葉乃味苦しとりにとる

和名キチカクシ

鵞鳥抱 山林の中石に附て生し蔓をなし葉大豆に似て根ハ萊菔に似たり大小あり

木鼈子 春苗を生し蔓をなし四月黄花を生し六月實を結ふ括楼に似て大し其核鼈に似たるゆへに名つくるとし

千歳藟 葉ハ葡萄に似てその茎白汁ありて[illegible]

麻黄 苗を生し夏長して一尺ばかり梢上に黄花あり実を結て百合瓣のごとくにして小さし

地黄 二月葉を生して地に布て車前に似たり葉上に皺文あり花ハ油麻花に似て紅紫なり

葫蘆巴 春苗を生し夏子を結ぶ秋に至てこれをとる此種海南諸蕃に出づるとし

和名カハラトクサ

和名アニチヤ

和名マチシ

羊乳根 蔓生みて長さ二三尺茎葉ハ四葉ありて茎をおれバ白汁出つ根ハ薺苨のごとくにして皺あり又丸きもありむかしハ[illegible]

大青 苗高三尺ばかり茎石竹に類し葉圓長色青紫にて馬蓼に似たり根黄色なり

小青 三月花を生れその月葉をとる福州の士人生ずるを碎て癰瘡に付く

紫菀 苗を生して其葉三四相つらなる五六月のころに黄紫白花をひらく実を結て黒し根[illegible]

雞腸児 苗の高七八寸細色く鋸歯硬厚く背白し黄花を開く根ハ指の大さあり一名ハ黏白草

九牛草 二月苗生し独茎高一尺葉艾に似て圓く長し背に白毛あり面青し

和名ツルニンジン

和名ヲニノシコ

和名ツチナ ○カハラサイコ

陸英 春苗を抽て茎に節あり節の間に枝葉を生ず大なり水芹に似たり春夏采をとる
水英 池沢及び洞海等に生ず海人呼て牛葷といふ蜀郡の人甚花を採て面薬に合す
白䓘 葉は沢芹に似て小し甚形鷺の飛に似たり根は慈姑のごとく小圓根
和名サギツクリ
江芏 浅水の地に生ず燈心草に似て三角也織て席とす
藤助ノ七島ヨリ出故ニ七島ト席ヲ名ヅク
和名シチトヲ
鱧腸 一名蓮子草 下湿の地に生ず これあり二種 一つは葉柳に似て光沢あり馬蘭に似たり一種は枯梗に似たり
和名タカサブラウ
陰地厥 葉は青蒿に似て茎紫色花小穂をなす微黄 細辛に似たり
穀精草 穀田の中に生ず葉茎ともに青し根花並に白色 一名戴星草と云はその花細に圓にして星に似たる故也
和名ハセクサ
曲節草 四月苗を生ず茎青し節あり七八月花をつく薄荷に似たり子を結
馬鞭草 春苗を生して狼牙に似たり又蔚母あり數しく茎圓し高さ二三尺三四穂をなす鞭のごとし
和名クマツヅラ
葶藶 苗と生ず葉の高さ六七寸三月黄なる花をつく角は扁小黍粒のごとし立夏の後子を採る
和名イヌナツナ
海金沙 初生して小株となる高さ一二尺七月に採て日中にほし紙をしいて撃く其沙を紙上に落とす
和名カニクサ
蛇含 土石の上或は下湿の地に生ず一茎に五葉又七葉あり両種あり葉細く花黄なるを佳とす

青箱子 苗長して三四尺葉闊く柳に似たり茎ハ青紅色蒿に似たり七月花をひらく上ハ紅下ハ白し

和名ノゲイトウ

敗醬 一叢生す花黄色根紫色柴胡に似て陳敗豆醬の氣あり故に名つく 白花ありヲトコヘシともいふ

和名ヲミナヘシ

續斷 甚多し 茎方にして麻に似て茎葉ハ対す花白く茎にそふてめぐりひらく根ハ

和名ヲドリソウ

火炭母艸 茎赤して柔かに細く蓼葉に似て端尖る夏白花をひらき秋實ハわりて豆のごとし

海根 山谷に生し茎わくく馬蓼に似て根ハ蒺藜に似て小し

和名ミヅヒキ

草綿 此草春種 秋花をひらく實の皮裂て綿を出す是をもつて布とす 此草ハ桓武天皇の延暦十八年三河国へ崑崙人漂着す船中に此実あり献して種植しむその後種うせて永禄年中に再ひ種をえて今ニひろまれり

木草ノ二種アリ 木ハ木部ニアリ

龍葵 葉圓く花白く実牛李子の如し生ハ青く熟して黒し煮て食ふへし

和名ウシホハツキ

王不留行 葉ハ尖りにして匙のことし又瓶子に似ておわり四月花をひらく葉茎に添て生る

和名キクチシヤ

筆頭菜 春初花を生て其形筆に似たり 接續草の苗なり

和名ツクヽし

天名精 夏秋枝を抽て薄荷のことく花紫白にして葉菘菜の如くにして小く香氣蘭に似たり

和名ヤブタバコ

決明子 苗生して高三四尺六七月花を開黄白色其子青緑豆の如くして鋭り

連翹 苗生して狭長楡葉の如く茎赤く高三四尺ばかり花黄に秋実のさや又一種蔓生なるもあり